



YOICHI MORITA

(発行)

森田事務所

☎04-7189-8277

FAX04-7189-8278



Eメール: moritayoichi2007@yahoo.co.jp

もりた洋一レポート

もりた洋一の議会報告(9月議会) No.6

平成20年9月4日～10月2日まで流山市議会9月定例議会が開催されました。この議会では「平成19年度の一般会計決算の審査」や「ゴミの有料化問題」などについて審議が行われましたので、以下にご報告いたします。

平成19年度一般会計決算の審査

平成19年度の一般会計は、決算額として、歳入366.4億円、歳出355.7億円がそれぞれ計上されました。財政の健全度比率は実質赤字比率がゼロ、実質公債費率8.7%でおおむね良好の審査結果があるものの、経常収支を前年度と比較すると、約11億円の減少が見られます。

また、経常収支比率が90.3%と高い傾向にあります。これは、人件費、公債費、扶助費の歳出に占める割合が多く、財政の弾力性が弱いことを示しています。近隣自治体も、90%台のところが多いものの、流山市の平成18年度88.1%と比較すれば上昇しており、注意が必要です。

ゴミの有料化の問題

この問題については、流山市は今9月議会に議案提出を予定していましたが、事前の説明会での市民の反響や、議会からの要望を考慮した結果、議案提出は見送りとなりました。

私の所属する会派(民主・市民クラブ)でも、以下の内容の要望書を提出しました。

1. ゴミの有料化の前に、ゴミの減量化を更に推進する。
2. 市民に対する有料化の前提条件をはじめとした説明を徹底し、理解を得られる行政の対応を実施する。
3. 世代間の、公平性担保・弱者救済策の確保などを十分に考慮する。
4. 国内の経済状況をふまえた上で、審議の検討に入る。
5. 有料化の議会審議を、9月議会を含めて当面は見送る。

もりた洋一の一般質問

1. 自然保護について

①シビックトラスト(市民による自然保護運動)に対する市の考え方はどうか。

【答弁】市民団体中心に「都心から一番近い森のまち」を、植樹や森林保全などから実現する事が、流山版シビックトラストと考えている。

②みどりの基金を充実すべきではないか。

【答弁】シビックトラストの一環であり、今回1.5億円の補正予算を計上し、約3.9億円となる。しかし、みどりの保全にはまだまだ足りない状況である。

③エコラベル商品の購入を推進してはどうか。

【答弁】水産資源の持続的利用を示す「海のエコラベル」など普及促進をしたいと考える。

2. 国際化対応について

①国内の姉妹都市・友好都市とは、災害相互応援に関する協定を結び交流を深めているが、国際交流促進での市の役割をどう考えるか。

【答弁】市民レベルでの交流を深め、市は情報提供や関係団体への側面的支援を実施する。

②外国からの観光客を含めた現状課題をどう捉えるか。

【答弁】国では、ビジットジャパンキャンペーン・観光庁設置を実施している。市としても、PRや観光ガイド育成の課題を踏まえて、観光振興に努力したい。また、市民団体の「グローバルながれやま」が外国人向け観光ガイドマップを作成している。

③ゴミ袋への外国語表示をしてはどうか。

【答弁】ゴミゼロ運動や地域の一日清掃で、外国人向けの説明書を一緒に配布する。

④国際交流サロン充実が必要ではないか。

【答弁】外国人の日常生活での問題や要望を把握しながら、関係団体との連携を図る。

⑤市内の外国人対象に、公共施設見学会を実施することをどう考えるか。

【答弁】希望者がいれば、通訳ボランティアの配置などに配慮していく。

⑥外国人生徒の日本語教育と、外国人進路ガイダンスをどう認識しているか。

【答弁】日本語が話せない生徒には、個別指導を実施している。進路については、保護者と生徒の面談を何度も実施し、不安を解消しながら希望に沿った進路になるように適切できめ細やかな進路指導を、今後も実施していく。